

アジア研究教育ユニット 令和4年度教育研究報告書

事業課題名	教員出張（学生派遣プログラム事前調査）
代表者名	経済学研究科 久野秀二
事業概要 (600字程度)	<p>経済学研究科では、KUASU 事業の主要なターゲットである東・東南アジア諸国への学生派遣プログラムに加え、欧州諸国のパートナー大学との国際連携教育研究プログラムにも力を入れており、日本・アジア諸国出身の学生を中心にオランダ・ワーヘニンゲン大学での合同ワークショップ等を実施してきた。新型コロナ禍で中断していたが、2022年5月にワーヘニンゲン大学農村社会学グループの創立75周年記念イベントに合わせて、教員2名と学生2名（うち1名は当時、教務補佐員の身分）を派遣し、うち教員1名の渡航費をKUASU 予算から支出した。</p>
成果の概要 (800字程度)	<p>当該教員1名と学生2名は記念イベントの一環であるセミナー「Agrarian and Food Citizenship」に参加するとともに、さらに交流イベントでは同大学関係者や海外から参加した共同研究者らと親交を深めた。当該教員は代表教員とともに同大学農村社会学グループとの国際連携教育研究プログラムの窓口教員である Joost Jongerden 准教授と打合せを行い、中断していた大学院生の相互交流のあり方について協議した。</p> <p>また、当該教員はトゥエンテ大学の Steven McGreevy 助教授（京都大学農学研究科出身、総合地球環境学研究所の前プロジェクトリーダー）と打合せを行い、今後の集中講義提供の可能性について協議した。</p>